

## ◎国内における馬インフルエンザ発生について

8月16日に美浦、栗東トレーニングセンターにおいて馬の届出伝染病である馬インフルエンザの発生が確認され、感染は全国的な広がりを見せました。

- どんな病気？ 本病はA型インフルエンザウイルスの感染によって起こる疾病です。症状は40～41℃の発熱、水様性鼻汁、激しい咳などで、感染馬の咳やクシャミにより空気感染し、10～15日で回復します。伝播力が非常に強いため、一旦発生すると急速に拡大する恐れがあります。
- 日本での発生は？ 1971年末から翌年の初めにかけて、東京競馬場・中山競馬場を中心に1,934頭の馬が発病し（発症率93.7%）、競馬開催が2ヶ月間中止されました。この感染源はニュージーランドからの輸入馬でした。
- 海外での発生は？ 馬の交流が盛んなアメリカやヨーロッパでは常在的に小規模の流行が見られ、特にイギリス、フランスでは季節に関係なく発生が見られます。
- 人にうつる？ これまで、人や家きんに感染した事例は確認されておりません。
- 予防法は？ 定期的なワクチン接種、感染馬の隔離、移動の制限、施設の消毒の徹底。消毒については一般的な消毒薬（逆性石鹼など）で十分効果があります。なお、前述の国内での発生後は、競走馬には年2回のワクチン接種が義務付けられました。
- 県内の状況は？ 那須塩原市の馬飼養施設において8月21日、乗用馬2頭が発熱、咳などの症状を呈したため、隣接馬房の2頭と併せて馬インフルエンザの検査を実施したところ、4頭全て陽性となりました。さらに、23日に同様の症状が見られた4頭も検査したところ、全て陽性となり、合計8頭の感染が確認されました。なお、これまでのところ、この施設以外では特に異常は確認されておりません。

飼養馬に馬インフルエンザが疑われるような異常が見つかりましたら、獣医師に御相談の上、家畜保健衛生所まで御連絡ください。

## ◎豚コレラ清浄国になりました

豚の急性伝染病である豚コレラは、かつて日本全国にまん延しておりましたが、飼養衛生管理技術の向上とワクチン接種の徹底等により、平成4年の発生を最後にわが国では確認されておりません。このため、日本では本病の清浄化を目指して平成8年度から段階的な撲滅対策を実施し、平成18年4月1日からワクチンを全面中止すると共に、清浄性の確認を実施してきました。その結果、ワクチン接種の中止から1年が経過した平成19年4月1日に国際獣疫事務局（OIE）の規定に従い、日本は清浄国となりました。

家畜保健衛生所では、この清浄性を維持するためにも、今後も臨床検査や抗体保有状況調査を実施していきます。養豚農家の皆様は、日頃から豚の健康状態をよく観察し、異常が認められた場合には早急に家畜保健衛生所まで御連絡くださるようお願いいたします。

## ◎暑熱被害・対策について

今年も管内における暑熱被害（死亡及び廃用家畜）の調査を、地方農業共済などの協力を得て実施しています。今年は梅雨明けが遅く、涼しい夏かと思われましたが、8月に入ってから連日の猛暑により被害が出始めています。現在までの調査結果は下記のとおりですので、何かありましたら家畜保健衛生所まで御連絡ください。

### <暑熱被害状況>

期 間	管内被害状況	最高気温	1日平均気温
7/30～8/5	乳用牛1頭	34.5℃	25.9℃
8/6～8/12	乳用牛3頭	36.6℃	28.3℃
8/13～8/19	乳用牛8頭	37.0℃	32.3℃

(※気温は宇都宮气象台HPから引用)

厳しい残暑も予想され、今後の繁殖成績等への影響も危惧されることから、適切な飼養管理をお願いします。なお、家畜の暑熱対策について、基本的な対策を参考までに以下に示しました。

### <暑熱対策について>

- 新鮮な水を常に十分飲水できるようにする。
- 畜舎の窓・戸を開放し、換気・通気を良くする。
- 換気扇・扇風機・ポリダクトなどによる送風・通風、畜体への散水・ミストなどにより、家畜の体感温度を下げる。
- 良質の飼料・主要なミネラルを与え、家畜の健康維持に努める。
- ヨシズや寒冷紗で畜舎やパドックなどへの直射日光を遮る。
- 密飼いを避ける。
- 行動を良く観察し、異常畜の早期発見・早期治療に努める。
- その他（豚関係）
  - ・母豚のボディコンディションは適正か？
  - ・雄豚に対する栄養面の強化と精液チェック

#### 栃木県 県央家畜保健衛生所

◇〒321-0905 宇都宮市平出工業団地6-8

◇TEL 028-689-1200 ◇FAX 028-689-1279

◇E-mail:kenou-khe@pref.tochigi.jp

～ この県央家保だより及び過去の家保だよりなどは、～

栃木県ホームページ内の「とちぎアグリネット」バナーをクリックし、  
「地域情報・出先機関」→「県央家畜保健衛生所」→「家畜衛生情報」をご覧ください。